



# 図書だより

令和7年9月  
網干高等学校図書館



長い夏休みが終わりました。夏の目標は達成できましたか？2学期は行事がたくさん控えています。今月は、ウッドペール校の生徒達の来校、その後には体育祭と続きます。まだまだ暑い毎日ですが、体調を整えていきましょう。9月からは学級文庫もはじまりました。忙しい毎日の合間、本を開いて気分を変えてリフレッシュしませんか？



図書委員のおすすめ



## 『スピノザの診察室』（夏川草介・著）

『神様のカルテ』の作家であり、現役医師の夏川草介さんが、京都を舞台に描く、地域医療や看取りなどを通して人生の最後に思う「人の幸せ」についての小説。京都の名所や、長五郎餅（ちょうごろうもち）、阿闍梨餅（あじゃりもち）、矢来餅（やきもち）などの銘菓についても描かれていて、読了後、京都に行ってみたくなる一冊です。

3年生 Yさん

新しく入った本より  
紹介します



## 『願わくば海の底で』

額賀 滯

東北のとある高校を舞台に、ささやかな謎ときと何気ない日常の大切な時間を、一人の男子生徒の目を通して描いた物語です。



## 『ミアキス・シンフォニー』

加藤シゲアキ

ひとつの場面を異なる視点から見つめた時に、交差していく登場人物。そして、主人公がわかった時にあらたな発見が…！最後は驚きのまさかのミステリー！



## 『本と鍵の季節』

『菜と嘘の季節』

米澤 穂信

主人公は図書委員の高校2年生。放課後の図書室に持ち込まれる謎に、不思議な相方の図書委員とともに挑む全六編の図書室ミステリ。

## ◆今月は3類の本を紹介します◆

～3類（300番代）にはこんな本があります～

3類（300番代）には、社会に関する本が分類されています。社会生活に必要なルール、身の回りに起こっている出来事…例えば、政治、法律、財政、世界情勢、福祉のことや、世界の民俗の習慣や食べ物、教育、国防などの本が並んでいます。社会で起こっている様々なことについて知りたいときは、「3」から始まる分類の棚を探してみましょう。たとえば、こんな本があります。

### 『どうすれば争いを止められるのか』（319）

世界のあちこちで起こっている戦争。なぜ、世界のリーダーたちは戦争をやめることができないのでしょうか。戦争、暴力、正義、国際平和をわかりやすく解説した本です。



### 『日本に住んでいる世界のひと』（334）

日本で暮らしているいろんな国から来た、隣人たちの生活物語。一人ひとりのストーリーを通して世界の様々な問題が見えてきました。読みやすい本ですが、その人の後ろにある大きな問題について考えてしまいます。



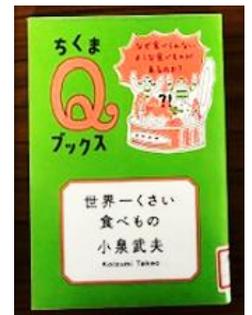
### 『音のない世界でコミュカを磨く』（369）

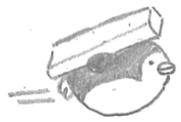
生まれつき耳が聞こえず、補聴器をつけて生活をする著者は、障がいがあるというハンディを覆し、自分のやりたいことに向かって突き進んでいます。聴覚障害への理解を深めることのできる本です。



### 『世界一くさい食べもの』（383）

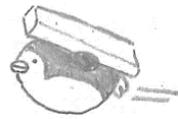
世界中には、国によって色々な食生活があります。この本に出ているのは「くさい食べもの」。日本にも納豆をはじめとして独特なおいの食べものがありますが、世界のくさは段違いにすごいらしいです！





新しい本を紹介します(文学・絵本編)

新着図書ピックアップ



タイトル	著者
実はおもしろい古典の話	谷頭 和希
百人一首解剖図鑑	谷 知子
源氏物語解剖図鑑	佐藤 晃子
街とその不確かな壁 上・下	村上 春樹
月まで三キロ	伊予原 新
君はレフティ	額賀 滯
おいしくて泣くとき	森沢 明夫
いま、会いにゆきます	市川 拓司
本と鍵の季節、葉と嘘の季節	米澤 穂信
ここはすべての夜明け前	間宮 改衣
#真相をお話します	有機 真一郎
二人一組になってください	木爾 チレン
ミアキス・シンフォニー	加藤 シゲアキ
遊園地ぐるぐるめ	青山 美智子
パズルと天気	伊坂 幸太郎
夜更けより静かな場所	岩井 圭也
デフ・ヴォイス	丸山 正樹
ゴリラ裁判の日	須藤 古都離
アルプス席の母	早見 和真
江戸川乱歩傑作選	江戸川 乱歩
どうかこの声があなたに届きますように	浅葉 なつ
小説 天気の子	新海 誠
光が死んだ夏 1, 2	額賀 滯
C 線上のエリア	湊 かなえ
保健室のアン・ウニョン先生	チョン・セラン
ザリガニの鳴くところ	デーリア・オーエンス
クララとおひさま	カズオ イシグロ
黒猫・アッシャー家の崩壊 他全3冊	エドガー・アラン・ポー
ふまんがあります	ヨシタケ シンスケ
ボク もぐら キツネ 馬	マッケンジー・チャーリー
二番目の悪者	林 木林
歩くはやさで	松本 巖



今月はウッドベール校から 28 名の生徒が来日し、本校で 2 日間を過ごします。  
日本の事を紹介した本、自分の気持ちを表すための英語がわかる本、オーストラリアのことがわかる本…などなど、会話をするために参考になる本が図書室にあります。せっかくのチャンス、楽しくコミュニケーションできるといいですね！

『英語で話せる日本図鑑』  
『京都を英語で言ってみる』  
『日本まるごと事典』  
今の日本のことを話せるテーマや言葉が詰まっています。「ガチャポン」って英語では？100均って？お寺や神社の歴史や説明だけでなく、食べものの事、買物の事など様々なシーンでの英語がわかります。



『気持ちを表す英単語辞典』  
『絵で見る日常生活の英語表現』  
こんな気持ちをなんて言おう？嬉しい時、なんて言う？毎日やっていることは英語でなんて言うの？そんなことがわかる本。  
  
『やさしい英語でSDGs！』  
授業で習っていることを英語で伝えるのは難しいけど、この本では中学で習った英語で説明できるように解説してあります。



『オーストラリアで大の字』  
日本人とアメリカ人の夫婦のオーストラリアでの体験を楽しいイラストと会話で綴っています。

『地図でスッと頭に入る  
オーストラリアと太平洋の島々』  
オセアニアの国々の概要がわかりやすいイラストと文章で描かれています。オーストラリアのことを知る入り口になる本です。

